

目 次

渡辺潤教授退任記念号

渡辺潤教授の退任記念号に寄せて……………柴 内 康 文… 3

この最後の非俗派書齋人！「森の生活」が似合う……………田 村 紀 雄… 5

渡辺潤さんの「私社会学」……………井 上 俊… 8

渡辺潤ゼミ解体試論

——感謝の言葉の代替としてのゼミ研究指導紹介——……………三 浦 倫 正… 10

書評集について……………渡 辺 潤… 13

『ライフスタイルの社会学——対抗文化の行方——』……………佐 藤 生 実… 15

『私のシンプルライフ』……………伊 藤 明 己… 17

『メディアのミクロ社会学』……………伊 藤 守… 19

『メディアの欲望——情報とモノの文化社会学——』……………加 藤 裕 康… 23

『アイデンティティの音楽

——メディア・若者・ポピュラー文化——』……………南 田 勝 也… 25

『〈実践〉ポピュラー文化を学ぶ人のために』……………瀬 沼 文 彰… 27

『ライフスタイルとアイデンティティ

——ユートピア的生活の現在、過去、未来——』……………宮 入 恭 平… 29

『コミュニケーション・スタディーズ』……………山 中 雅 大… 31

『「文化系」学生のレポート・卒論術』……………勝 又 雄… 33

『レジャー・スタディーズ』……………吉 成 順… 35

論 文

ライフ・ヒストリー研究による1960年代のロンドンと若者文化の考察

……………長谷川 倫 子… 37

ケーブルテレビ事業者によるコミュニティ放送事業の兼営……………山 田 晴 通… 55

研究ノート

シェイクスピアズダイアログ

——杖道とアート（命がけの）幾何学——……………中 村 理 恵 子… 81

---

## 『コミュニケーション科学』投稿規程

2017年7月 改正

1. 投稿資格 本会の会員および研究・教育機関に所属する研究者（大学院生を含む）またはそれに準ずる経歴を持つ方は投稿資格を持ちます。広く「コミュニケーション科学」に関する研究成果の投稿を歓迎します。
2. 原稿校数 原稿枚数は原則として次の通りとします。  
論文 : 400字詰原稿用紙80枚（注及び図・表などを含む）以内  
（欧文の場合、A4版ダブルスペース1行60—70字、28行—32枚以内）。  
研究ノート：同じく60枚以内（欧文、同じく24枚以内）。  
資料 : コメントを含む。同じく30枚以内（欧文、同じく24枚以内）。  
翻訳 : コメントを含む。同じく30枚以内（欧文、同じく24枚以内）。  
書評 : 同じく15枚前後（欧文、同じく6枚前後）。  
評論・報告：同じく60枚以内（欧文、同じく24枚以内）。  
なお、原稿には必ず「欧文タイトル」と「欧文氏名」をつけ、所定の執筆申込み用紙に他の必要事項とともに記入し、原稿と一緒に提出して下さい。外部からの投稿の場合には、事前に執筆申込み用紙をお取り寄せ下さい。
3. コミュニケーション科学付属CD-ROMへの投稿 コミュニケーション科学付属CD-ROMへ投稿する場合には、容量や動作環境の問題がありますので、あらかじめ編集委員会までご連絡下さい。また、付属CD-ROMのある号の発行時期との関係で、掲載が多少遅れる場合があります。
4. 投稿形式 原稿は原則としてワープロ、パソコンでプリントアウトしたものとし、フロッピー・ディスクを添付して下さい。なるべくMS-DOSのテキストファイルで提出して下さい。なお、カラー印刷など、特別な処理を必要とする場合には必要経費をご負担いただくことがあります。
5. 審査 投稿、依頼を問わず、寄稿された原稿（コミュニケーション科学付属CD-ROMも含む）を掲載するか否かは、編集委員会で審査の上決定します。査読に要する時間の関係で、掲載が多少遅れる場合もあります。
6. 校正 校正は著者校正を原則とします。審査制度を設けている関係で、掲載決定後の校正段階での誤植以外での修正は原則として認めません。校正段階での大幅な加筆があった場合、掲載延期または掲載取消とし、組み替えなどによる必要経費はご負担いただくこととなります。
7. リポジトリでの公開 コミュニケーション科学に掲載された論文等については、本学の学術機関リポジトリにて原則として公開されます。
8. 原稿送付先および問い合わせ先は、次の通りです。

〒185-8502 国分寺市南町1-7-34 東京経済大学コミュニケーション学部  
東京経済大学コミュニケーション学会  
コミュニケーション科学編集委員会  
電話 042 (328) 7743 FAX 042 (328) 7772

# 東京経済大学コミュニケーション学会会則

- 第1条 本会は東京経済大学コミュニケーション学会という。  
本会の事務局は、東京経済大学コミュニケーション学部に置く。
- 第2条 本会はコミュニケーションの研究の進展およびその普及を目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- ①機関誌『コミュニケーション科学』の発行及び普及
  - ②研究会及び講演会の随時開催
  - ③その他
- 第4条 本会の会員は次の者とする。
- ①東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員
  - ②東京経済大学の教員で入会を希望する者
  - ③東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員を退職した者
- 第5条 1 本会に次の役員を置く。
- ①会長  
会長は会を代表する。
  - ②理事  
理事は会の運営にあたる。ただし、理事の人選については別に定める。
- 2 役員の任期は1年とする。ただし再任はこれを防げない。
- 第6条 本会の会員は、第3条に定める目的を達成するために、会の運営に協力する。
- 第7条 本会の会費については別に定める。
- 第8条 本会則の改正及び変更は会員総会の決議による。

## 執筆者紹介(掲載順)

柴内康文	本学コミュニケーション学部・教授
田村紀雄	本学名誉教授
井上俊	大阪大学名誉教授
三浦倫生	桜丘高校教員
佐藤生実	ファッションマーケット・リサーチャー
伊藤明己	関東学院大学経済学部・教授
伊藤守	早稲田大学教育・総合科学学術院・教授
加藤裕康	成蹊大学他・非常勤講師
南田勝也	武蔵大学社会学部・教授
瀬沼文彰	桜美林学院大学他・非常勤講師
宮入恭平	立教大学他・非常勤講師
山中雅大	地域科学研究会・研究員
勝又雄	ソーシャルワーカー
吉成順	国立音楽大学音楽文化教育学科・教授
長谷川倫子	本学コミュニケーション学部・教授
山田晴通	本学コミュニケーション学部・教授
中村理恵子	本学コミュニケーション学部・客員教授

コミュニケーション科学 第47号

〈非売品〉

発行 2018年2月28日

編集者 池宮正才

編集人 東京経済大学コミュニケーション学会  
発行人 コミュニケーション科学編集委員会

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34  
電話 042-328-7743 (直通)  
FAX 042-328-7772

印刷・製本 株式会社 精興社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-9  
電話 03-3293-3021 (直通)

送付に関するお問い合わせ先

本学では、「紀要」交換業務は、図書館が行なっております。

東京経済大学図書館・「紀要」担当

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34  
電話 042-328-7763 (直通) FAX 042-328-7777